

## 第102回社員総会 議事録

一般社団法人 海洋会

1. 日 時 : 令和4年6月17日(金) 14時00分 ~ 15:30
2. 場 所 : 東京都千代田区麹町4丁目5番地 海事センタービル4階会議室
3. 議 案 :

第一号議案 令和3年度事業報告並びに決算報告について

- (1) 令和3年度事業報告
- (2) 令和4年年度決算報告
  - ① 貸借対照表
  - ② 収支計算書
  - ③ 正味財産増減計算書
  - ④ 正味財産増減計算書内訳表
  - ⑤ 財産目録
  - ⑥ 財務諸表に対する注記
  - ⑦ 収支計算書に対する注記
  - ⑧ 附属明細書

第二号議案 令和4年度事業計画案並びに収支予算案について

- (1) 令和4年度事業計画(案)
- (2) 令和4年度収支予算書(資金収支)(案)
- (3) 令和4年度正味財産増減予算書内訳表(案)

第三号議案 当会所有不動産(神戸海洋会館)の売却について

第四号議案 海洋会本部移転について

#### 4. 報告事項:

報告事項-(1) 「海洋会行く末検討委員会」提言(進捗報告)について

報告事項-(2) 令和4年度特別会員の推薦について

#### 5. 出席者(五十音順、敬称略)社員(29名)

石津 則昭	石田 隆丸	磯崎 道利	井手 祐之	今村 洋一	岩本 勝美
遠藤 充	小澤 純一	掛谷 茂	岸本 宗久	木下 哲也	久門 明人
小寺 俊秋	小島 茂	齋藤 威志	阪本 敏章	佐田 昌弘	庄司 勉
庄司 るり	長南 賢司	西井 典子	西山 周作	狭間 満雄	橋本 正孝
福田 貴之	平塚 惣一	藤井 照久	藤丸 明寛	松田 洋和	

#### 6. 議長選出・定足数の確認

##### (1) 会長挨拶

本日は、コロナ禍のところ、遠隔での御出席戴き有難う御座いました。本日の議題に付きましては、予め会誌「海洋」4月号に掲載されていますが皆様のお手元に第102回定時社員総会議案書を用意しております。これから、議事が円滑に進みますよう、社員の皆様の御協力を戴きますよう宜しくお願い致します。

##### (2) 議長選出

議長選出は、定款第21条により出席社員の中から選出することが決められていることにより、会長一任を取り付けて、出席社員の中から狭間満雄氏を指名し承認された。

### (3) 定足数及び議事録署名人

事務局から、本日の定時社員総会は社員総数67名のところ、本人出席29名（会議室・遠隔）、委任状提出34名、合計63名で、定款第20条の規程により、本定時社員総会は成立していること並びに佐田昌弘監事（会議室）が出席していることが報告された。

続いて、議長は定款25条の規定により本社員総会の議事録署名人について、社員の中から掛谷 茂氏と阪本敏章氏を指名し了承された。

## 7. 議案審議

### 第一号議案 令和3年度事業報告および決算報告について

事務局から議案書に基づき、次の事項について説明があった。

- ① 令和3年度事業報告書
- ② 令和3年度決算報告書

尚、②の令和3年度決算報告書に付いては、今後一部の科目について変更、振替等必要となった場合は、その処置を会長に一任することが了承された。

引き続き佐田監事より「令和3年度における貸借対照表、収支計算書、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、及び財産目録、並びに海洋会の業務執行状況について、5月12日海洋会本部において岡本建之介監事と私佐田昌弘が監査したところ何れも適正であることを確認しましたので、その旨御報告いたします」との報告があった。

議長が、本議案について賛否を諮ったところ、全員意義なく承認された。

### 第二号議案 令和4年度事業計画案 及び 収支予算案について

事務局から議案書に基づき、次の事項について説明があった。

- ① 令和4年度事業計画（案）
- ② 令和4年度収支予算（案）
- ③ 令和4年度正味財産増減予算書内訳表（案）

尚、②および③に関して、今後一部の科目について、止むを得ない事情により振替等の処理が必要になった場合は、その処置を会長に一任して貰いたいと思います。

（質疑応答）

- ・ 議案書21ページ（財産目録）に記載されている百周年記念事業積立資産の活用状況について、決算報告書のどこかに記載しておく必要があるのではないか。

（事務局回答）

- ・ 17ページ（正味財産増減計算書）に記載されている受取寄付金振替額が上記の活用状況（使途）を示しているが解り難いため会計士と対応を相談したいと思います。

議長が、本議案について賛否を諮ったところ、全員意義なく承認された。

(事務局)

- ・第三号議案、第四号議案の審議の前に報告事項―1 について報告したい旨提案を行い、了承された。

報告事項―1 「海洋会行く末検討委員会」(提言)進捗報告

事務局から議案書に基づき、次の事項について説明があった。

① 増収対策

- 1) 海洋会本部事務所を移転し空室を賃貸化
- 2) 横浜海洋会館 3 階会議室の賃貸化

② 節減・縮減対策

- 1) 神戸海洋会館を売却し会館運営費を縮減
- 2) 会誌、「海洋」の発行回数を 4 回から 3 回に削減
- 3) 横浜・神戸支部を除く支部補給金減額 (一律 5 万円に統一)
- 4) ボランティア活動支援金減額 (明治丸 G・神戸 かもめ会)
- 5) 母校支援金減額 (海洋大海事普及会) を取り止め
- 6) 海技教育機構図書購入支援金廃止を取り止め
- 7) 海洋会本部賀詞交歓会は廃止
- 8) その他の節減・縮減対策として日刊紙購入停止／会誌発送業務の委託廃止／  
会誌校正業務の委託廃止

③ 今後の取組 (海洋会本部事務局での対応)

- ・学生会員 (准員)、正会員に向け、「海洋会に期待するものは何か」等々についてアンケートをすべく準備
- ・アンケートは、海洋 7 月号 (発行 8 月 5 日) に掲載予定
- ・また、アンケート結果は、2023 年海洋 4 月号の誌面に掲載予定

(質疑応答)

- ・会誌発刊を 4 回から 3 回に削減するという事は行く末検討委員会でしっかり議論がなされたのか。
- ・海洋は立派な紙を使用しているが、削減策を検討する場合、紙質を落とすという方法も考えられ、また、会誌の内容についても検討された結果 3 回となったのか。

(事務局回答) 行く末検討委員会として議論が尽くされた結果である。今後の取組で述べた通りアンケートで会誌の発行方法、発行回数についての会員の意識調査を行う予定であり、今後の会誌発行の在り方について検討していく予定です。

第三号議案 当会所有不動産 (神戸海洋会館) の売却について

事務局から議案書に基づき、次の事項について説明があった。

売却する物件：神戸海洋会館

神戸市中央区下山手通3丁目15番10号 万葉ハイツ元町MR（9階建て鉄筋コンクリート共同住宅、1979年8月竣工（築43年）、延床面積5759.30M<sup>2</sup>）の1・2階部分（当会区分所有）392.99M<sup>2</sup>（約119坪）、簿価：64,230千円。

売却価格 40,000千円

売却先 バイリンク（株） 大阪市北区梅田1丁目11番4号12階3-2号

仲介業者 三井不動産リアルティ（株）（東京本社営業部）（以下、MR社）

仲介手数料：売却価格の3%（1,200千円）を売り主から仲介業者に支払う。

売却・引き渡し日 社員総会の決議後、買主との協議により決定。6月末を目途とする。

尚、引き渡し前、当会所有の什器、書籍等の移動、処分を行います。費用50万円を見込む。

また、令和3年度下期に開催された常設委員会、理事会の審議にて、神戸会館売却後の神戸支部の活動拠点を確保すべきとの意見を踏まえ、神戸支部事務室の移転先を確保し、事務室長（職員）の就労を継続する。移転先の候補として神戸商船三井ビルの賃貸物件を考える。

議長が、本議案について賛否を諮ったところ、全員意義なく承認された。

#### 第四号議案： 海洋会本部移転について

事務局から議案書に基づき、次の事項について説明があった。

移転元：現海洋会本部会長室・事務室・会議室・物置スペース

東京都千代田区麹町4丁目5番地海事センタービル6階、床面積142.22M<sup>2</sup>（42.9坪）

移転先：東京海洋大学越中島キャンパス内の大学施設

移転の理由：

- ・現本部を空室として賃貸に出すことにより、増収を図る。
- ・越中島キャンパス内に本部を構えることにより、大学当局、現役学生との連携を図って当会の活動に関する理解を深め、会員数の回復を目指す。

議長が、本議案について賛否を諮ったところ、全員意義なく承認された。

#### 報告事項ー2 特別会員の推薦

事務局から議案書に基づき、次の事項について説明があった。

東京海洋大学から7名、神戸大学から2名、海技大学から1名、合計10名の推薦があり、特別会員は合計104名となる旨報告があった。

（質疑応答）

- ・特別会員の推薦はどのようなやり取り、作業で決まっているのでしょうか。

(事務局回答)

- ・海洋会の規定に従い推薦をいただいています。

(質疑応答)

- ・神戸大学では学生の新入生の入会勧誘ができない状況で特別会員は推薦してくるというのは違和感があります。海洋会は同窓会だけではなく、海事団体としての位置づけもあるので、新入生の勧誘ができないというのは大学としては矛盾があるのではないかと。あいまいにせず、特別会員の先生方に、学生へのコンタクトの労を取っていただくよう促してほしい。神戸大学へ働きかけていただきたい。

(事務局回答)

- ・今後、ご意見を踏まえ対応について検討・実施していきます。

以上をもって、第 102 回定時社員総会の議案審議及び報告事項はすべて終了し、閉会された。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、社員総会議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

令和 4 年 6 月 17 日

一般社団法人 海 洋 会

社員総会議長 狭 間 満 雄 印

議事録署名人 掛 谷 茂 印

議事録署名人 坂 本 敏 章 印